

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの心理学Ⅱ		科目コード	18Y610	担当者	福井 謙一郎			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	1	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択			
						免許・資格要件		保育士必修			
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
本講義の主題は、子どもの心理学Ⅰの内容を踏まえたうえで、子どもの発達と学習をどのように援助すべきか、その具体的な方法を身につけることである。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実行体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子どもの発達と学習について理解する					◎	◎	○	○	◎	◎
2.	子どもの発達過程に応じた関わり方の必要性を理解する										
3.	子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識や技能を身につける										
4.						◎	◎	○	○	◎	◎
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度 (30%) 提出物 (20%) 定期試験 (50%)					
スライドを用いた講義を行う。毎授業で事例検討を行い、学生の意見をもとにその解説を行う。											
準備学修						課題等への対応					
子どもの心理学Ⅰの授業内容を復習し、内容を確認すること（3時間）。 復習（全授業を通して5時間）						毎授業内の演習時に学生へフィードバックする。					
授業計画											
第1回	子どもの発達過程の概要										
第2回	個人差や発達過程に応じた保育										
第3回	環境としての保育者										
第4回	子ども同士の関わりと関係づくり										
第5回	自己主張と自己抑制										
第6回	子ども集団と保育の環境										
第7回	運動経験と環境との相互作用										
第8回	子どもの生活と学び										
第9回	子どもの遊びと学び										
第10回	基本的な生活習慣の獲得と発達援助										
第11回	アイデンティティの獲得と発達援助										
第12回	発達課題に応じた援助										
第13回	就学への支援を目的とした保育										
第14回	保育場面における協働										
第15回	子どもを理解するために										
試験	定期試験を実施する										
教科書	授業資料は教員が準備する。				受講生へのメッセージ	子どもの心理学Ⅰの内容を踏まえ、より発展的な内容を扱います。子どもが何を考え、どのように成長していくのか...保育場面に応じた関わり方を考えながら学んでいきましょう。					
参考書等	授業資料は教員が準備する。										